

## 環境掲示板

### ●植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 2月6日(日) 13:00~14:30

3月6日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

### ●野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 2月12日(土) 9:00~12:00

3月12日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

### ●省エネルギー講座「経営にプラス！」

ECOを取り入れてみませんか？」

主催 環境対策課

日時 2月18日(金) 18:30~20:40

場所 三鷹ネットワーク大学

対象 市内事業者及び市民

定員 40名 無料

申込・問合せ先 環境対策課 内線 2525

### ●うさぎのひな人形作り

主催 ごみ対策課

日時 2月23日(水)、24(木)、

26日(土)、27日(日)

10:00~12:00 と 13:00~15:00

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 午前2名、午後2名(先着順) 無料

申込 2月20日以降の開館日に直接

又は電話で申し込む

問合せ 三鷹市リサイクル市民工房

電話 0422-34-3196

### ●野鳥観察会

主催 花と緑のまち三鷹創造協会

日時 2月24日(木) 10:00~13:00頃

集合 野川公園正門前集合、午後1時ごろ

大沢の里付近で解散の予定

対象 特になし 定員 30名 無料

持ち物: 双眼鏡(お持ちの方)、筆記用具、

飲み物。歩きやすく、防寒のよい服装で。

申込・問合せ 花と緑のまち三鷹創造協会

へ電話で、0422-45-8351

### ●第68回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「冬芽」

日時 2月27日(日) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

発行: みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先: 三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: [kankyo@city.mitaka.tokyo.jp](mailto:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp)

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

# みたか環境ひろば 第33号

2011年2月1日発行

## 雨水の有効活用の取組み

三鷹市でも、大切な雨水を有効に活用する取組みがすすめられています。

既設住宅での「雨水浸透ます設置事業」や「小型雨水貯留槽設置助成制度」が行われています。平成21年度末で、すでに、「雨水浸透ます」は49375個が設置され、「小型雨水貯留槽」は125基が設置されています。

道路に降る雨水に対しては、合流式下水道改善事業として「道路雨水貯留浸透施設」の設置が進められています。これは、50 mm / 時間までの雨を「道路雨水貯留浸透施設」内に一時貯留して、徐々に浸透させることで、雨水の合流管への急激な流入を抑制するとともに、雨水の浸透を図るものですが、この施設は、近年のゲリラ豪雨の対策にも効果が期待されます。

公共施設及び民間施設の開発事業については、同様に50 mm / 時間までの雨を「三鷹市雨水浸透施設設置基準」に基づき、①浸透ます、②浸透トレンチ、③浸透U型溝で、浸透処理できるように指導しています。



写真: 工事中の東台小学校校庭の雨水貯留浸透施設、完成すると敷地全体で約255トンの雨水が貯留できます。

一般住宅等に関しては、「三鷹市雨水浸透施設設置基準」で、同様に10 mm / 時間までの雨を浸透処理できるように協力を要請しています。

学校では、改築時等には、校舎屋根等に降る雨水について、100トン以上の雨水の貯留施設が設置されています。高山小学校では約100トン、第3中学校では約100トンの雨水貯留施設が設置され、校庭の散水に雨水が有効活用されています。改築中の東台小学校の校庭等では、敷地全体で約255トンの雨水の貯留・浸透施設が3月末に完成する予定です。(安達)

## 編集後記

今年の冬は、例年よりは寒い。日本海側で雪が多いせいか、東京では、冬鳥の数が多く感じる。特にツグミの群れが目立つ。野鳥は、自然の変化に、柔軟に適応して、生活しているのだろう。(安達)

## 三鷹の小・中学校の環境教育

地球温暖化、気候変動、また乱開発などによる自然災害や生物種の減少のニュースがつづいています。どのようにしてかけがえのない地球環境を守り、住みよい社会を維持するか。これが私たちの大きな課題です。

いま三鷹市では「三鷹環境基本計画」に沿って、環境保全の取り組みを進めています。このなかで、市内の小中学校で環境に関わる教育あるいは子供たちの学習がどのようになされているのか、三鷹市教育委員会指導課と生活環境部環境対策課にお話を伺いました。

まず、三鷹市では「環境教育」を小学校1～6年をとおして各学科、道徳、総合的な学習時間等の授業のなかで指導しています。そして、三鷹市小・中一貫カリキュラムとして「身近な環境」というテーマを設定し、例えば小学校5年では「住みよい暮らしと環境」、中学校1年では「ごみ問題」、中学校2年では「地球温暖化防止」など、個別の課題を学びます。一方で、学校によっては例えば野川の自然を守るための調査、清掃などを含めた総合的な活動を行った羽沢小の例、簡易コンポストを設置した第5中の例もあります。

一昨年から、市内小学校の第4学年、第5学年と中学校第1学年の全児童・生徒が相次いで家庭における二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減のチャレンジを始めました。これは「CO<sub>2</sub>削減の生活行動チェッ



羽沢小学校4年生の総合的学習の様子

クシート」を使って、暖房を1℃低くする、暖房時間を1日1時間短くする、TVやTVゲームの時間を1日1時間短くする、ごみは決められたとおりに分別する、などの身近に取り組める10項目について、自分で実行できた場合に丸をつけて記録し、自分でCO<sub>2</sub>の削減量を計算するというものです。分析の結果は、取り組みやすかったのはごみの分別だったが、CO<sub>2</sub>削減量が多かったのはTVやパソコンを使わないときはコンセントを切るという項目だったこと、などを示しました。この取り組みは、児童・生徒が家族と一緒に身近な地球温暖化防止の活動につながっていくことを期待しています。

このような学習活動を通して、子供たちが保護者共々に身近に環境保全への関心もち環境保全のための行動に、すすんで取り組もうとする態度を育むものと期待されます。(山口)

## 環境講演会のお知らせ

「くらし・地域から実現する持続可能な未来」

日時 平成23年3月17日(木)  
午後2時～3時半

会場 三鷹ネットワーク大学

主催 みたか環境活動推進会議

NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構

申込 不要 問合せ 三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523,2524

E-mail :kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

講師 ジャーナリスト・環境カウンセラー  
崎田 裕子 さん

昭和60年、女性誌編集を経てフリージャーナリストとして独立。早稲田大学環境総合研究センター客員研究員、資源エネルギー庁の総合資源エネルギー調査会委員などを歴任。生活者の視点から環境問題、特に「循環型社会づくり」をテーマに講演・執筆活動を行っている。

身近な生活の視点から、環境問題をできるだけ易しく解説していただきます。多数の方々のご参加をお願いいたします。

## 三鷹のみち：「黒門」井の頭弁財天の参道

鉄道やバスの便がない昔、井の頭池の弁財天には井の頭の南に東西に延びる井の頭公園通りの方から参詣しました。この通りの井の頭4丁目21番の地点で北西に分かれる道の角に「黒門」という黒塗りの鳥居の形をした門があります。門の脇に2本の越す高い石柱が立っていて、その碑面に「神田御上水源井頭弁財天」とあり、ここが参道の入口であることを示しています。

黒門から池の端までは200m位。左右に町並みがつづきやがて大きな石灯籠が並び、池まで急な石段を降りると正面に朱色の欄干の橋とその奥に鮮やかな色の弁財天の堂が見えてきます。池の端は連日賑わっていますが、裏手の昔の参道



黒門

は人通りもまばらです。

一度黒門まで足をのばしてみたいかがですか。(山口)